

記 事

◎第8回理事会(昭.29.12.13)出席者:青木会長,藤井副会長,兼重,飯田,中路,最上,後藤,星埜,片平,篠原の各理事,中川書記長,朝倉,捧箸,堀内の各書記,議事:1)11月中の行事その他報告,2)昭和29年度土木賞委員会委員候補者について,3)明年5月総会を西部支部(福岡市)で開催のこと,4)海外連絡委員会委員に安芸皎一,藤井松太郎の両氏を追加のこと,5)発電水力協会会長大西英一氏から電気事業法案に対する希望意見に協力方要請があつたので通産大臣宛陳情すること,6)日本学会会議応用力学研究連絡委員長から明30年度第5回講演会の幹事学会を土木学会及び航空学会に依頼については了承,7)昭和29年11月11日付国鉄施設局長からの下記研究委託を受諾すること,

- ①高築堤及び長大法面の崩壊防止に関する研究
- ②鉄筋コンクリート構造物設計基準の制定に関する研究
- ③溶接橋設計示方書の制定に関する研究
- ④鋼鉄道橋設計示方書に関する研究

8)立花理事栄転(大阪鉄道管理局施設部長)につき後任理事に江里口正夫君(運輸省民営鉄道部土木課長)を推薦し常議員会にはかること,9)土木学会規則第6条により賛助員たるべき者下記のとおり(○印は既賛助員)

北海道土木部,福岡県土木部,東京,北海道,東北,北陸,中部,関西,中国,四国,九州の9電力会社,ブルドーザー工事KK,○KK大林組,○鹿島建設KK,○KK熊谷組,佐藤工業KK,○清水建設KK,○大成建設KK,○西松建設KK,○KK間組,○セメント協会,日立製作所

10)会員入退会について

◎各種委員会

1. 第7回編集委員会(昭.29.11.21)出席者:最上,後藤正副委員長,今井,坂本,久保,三木,大宮,斎藤,森,吉川,山本,鈴木各委員,徳平幹事,岡本編集部員。協議事項:1)会誌および論文集進捗状況報告,2)投稿論文および新規受付論文の審査委員の決定,3)土木賞選定について,5)論文集24号登載論文を次のとおり予定した(2月中旬刊行の予定)。

青木康夫:円筒状曲り格子の解法,小田英一:巻立楕円形トンネル周辺の応力分布について,石原藤次郎・石原安雄:洪水追跡用アナログコンピューターについて,小野一良:波状磨耗レールが走行車両より受ける衝撃,荒木正夫:彎曲底面開水路上を流れる底面に垂直方向の速度成分を無視できない定常流れ,谷本勉之助:A Efficient Mobification of Fular-Mecherins, Formula, 四野宮哲郎・大地羊三:逆行列に関する二,三の公式,後藤尚男:橋脚井筒構造の動的計算

法について。

2. 第9回学会誌抄録委員会(昭.29.12.9~10)出席者:左合委員長,中村,林,樋口,平嶋,松本,山口,渡辺(修),渡辺(隆),千秋幹事,徳平編集幹事,岡本編集部員。協議事項:1)年末のため1月~12月までに抄録案として各委員より提出されたものにつき,再検討を加えた,2)明年度抄録の編集方針について。

3. 土木工学論文抄録委員会(昭.29.12.16)出席者:本間委員長,米元,伊丹,安河内,樋口,水野,三木,徳平,松本,千秋,嶋,藤野(代),長尾,吉川,岩塚,並木,池原,田原(代神原),伊東(代大野)の各委員,平嶋,西脇両幹事,中川書記長。議事:1)幹事から経過報告,委員長から未提出の部門を督促して今週一杯に提出を求め,2)夏季講習会パンフレットは抄録する。

4. 土木工学叢書委員会(昭.29.12.14)出席者:佐藤委員長,種谷,最上,星埜,平井の各委員,中川書記長,朝倉,捧箸,堀内各主任及び出版社技報堂,議事:1)佐藤委員長から経過説明の後,今後叢書として組入れるべきものについて協議した。

5. 第20回コンクリート鉄道構造物委員会(昭.29.12.16)出席者:吉田委員長,高橋,最上,丸安の各委員,山内,白石,杉木,池原,横山,深谷,田村,川口の各幹事,議事:第27条3項及び第20条を審議。

6. 第30回プレストレストコンクリート委員会(昭.29.12.20)出席者:吉田委員長,国分,岡本,田原,山田,伊東,猪股,宮崎,海上(代白木),渡辺(代木村),村田,友永,三浦,菅原,深谷,田村,川口の各委員,議事:第29条~32条逐条審議。

7. 海外連絡委員会(昭.29.12.21)出席者:菊池副会長兼委員,本間,安芸(代近藤),平井の各委員,中川書記長,捧箸主任,議事:下記明年度国際会議に土木関係代表者の推薦について協議した。

記

1)6th Meeting of the International Executive Council of the International Commission on Irrigation and Drainage (限定)

(1955年5月スイスにおいて)

2)5th Congress of the International Commission on Large Dams

(1955年5月31日パリーにおいて)

3)3rd Congress of the International water Supply Association

(1955年6月18日ロンドンにおいて)

4)58th Annual Meeting of the American Society for Testing Material

(1955年6月26日~7月1日アトランチック市

において)

- 5) 10th International Road Congress
(1955年9月イスタンブールにおいて)
- 6) 2nd world Meeting of International Road Federation
(1955年10月2日～6日ローマにおいて)
- 7) General Meeting of the International Association for Hydraulic Research
(1953年8月デルフトにおいて)
- 8) Annual Assembly of the International Institute of Welding
(1955年スイスにおいて)

◎その他

1. 土木工学ハンドブック刊行記念祝賀会(昭.29.12.6, 虎ノ門共済会館において) 出席者: 青木会長, 平井, 稲浦両前会長, 福田委員長, 各理事, 各主査及び執筆

写真-1 祝賀会会場



委員等 82 名, まず青木会長の挨拶に次いで福田委員長の各主査及び執筆委員に対する謝辞があり, 晚餐会が開始せられ, デザートに入り成瀬勝武, 山田順治, 西松醇厚の各氏及び大沼正吉氏(技報堂社長)の出版社としての希望並びに中川書記長等のテーブルスピーチがあり盛会裡に祝賀会を終った。なお出版社技報堂から参会者一同に刊行記念品としてルーズリーフ式手帳の寄贈があつた。

2. 日本工学会大会準備委員会(昭.29.11.18) 星埜理事出席, 議事: 1)大会内容は特別講演, 映画, 部会, 懇親会等とし, 2)会員学協会が参加し, 3)展示会, フェアのようなものを催すこと。
3. 文部省大学学術局長から昭和30年度研究成果刊行費補助金の交付申請について注意があつた。
4. 日本学術会議地球物理学研究連絡委員会幹事から当学会水理委員会あて“地球物理学関係学会連合を結成する相談会を開催するとの通知に接したので12月15日日本間幹事長出席の上協議した。
5. 日本鉄道技術協会と国鉄技術研究所共催で昭和29年12月20日“120 km/h 運転試験報告会を開催し, 非常に盛大であつた。

支 部 だ よ り

1. 中部支部 役員変更: 岐阜県土木部長 熊本政晴(鈴木清一氏後任), 国鉄岐阜工事事務所長 吉田朝次郎(高原芳夫氏後任)の両氏を評議員に, 国鉄岐阜工事事務所土木課 大野弘(鈴木隆吉氏後任)氏を幹事に委嘱。第6回幹事会(昭.29.10.12) 出席者: 竹重幹事長外23名, 議事: 1)研究発表会について, 2)支部大会について, 3)見学会について, 研究発表会(昭.29.10.30, 長野県県員研修所) 参加者: 大林支部長外約100名, 題目及び講師は次のとおり, 中小河川の改良工事(中島万喜治), 堰上流の堆砂現象に関する実験(杉尾捨三郎), 東上田発電所第4号トンネル機械化施工の実施(新美晃), 鋼板桁の並列式補強法(保田市兵衛), 三重県木本港防波堤の災害復旧(北沢四郎), 第2南軽湖ダム予定地付近の地質(佐藤健吉), 軟弱地盤における木造ケーソン(斎藤稔), 門型ラーメンにおけるハンチの影響(井上肇), 最近の鉄道における地入り対策(佐藤幸夫), 立体ラーメンに関する一考察(吉田俊彌), 道路の塵埃の農作物に及ぼす影響(山口熙), 交通調査におけるスリットカメラの利用(渡辺新三), 大糸南線第一姫川橋梁ピントラスのケーブルエレクション(滝淵清美), 研究発表会終了後貸切バスで長野市外の地震観測所を見学して午後5時散会。

第7回幹事会(昭.29.11.2) 出席者: 竹重幹事長外20名, 議事: 1)支部大会について, 2)見学会について。

第4回講演会(溶接協会共催, 昭.29.11.8) 参会者: 約100名, 題目及び講師: 道路橋に関する新しい仕様書(青木楠男), 溶接橋梁(松岡道男), 名古屋溶接テレビ塔(川勝義雄), 天田橋組立式橋梁全溶接(森正英)

支部大会(昭.29.11.27, 名古屋市名交会館) 参会者: 150名, 支部長挨拶の後議事に入り, 青木会長ちようど出席されたので会長の挨拶の後次のような講演があつた。佐久間ダムの建設について(永田年), 13号台風災害の海岸堤防復旧工事について(中島武), 名古屋市の高速度鉄道について(石田二郎), 引続き佐久間ダム及び海岸堤防復旧工事の映画を見て閉会后, 午後7時から中村松楓閣で懇親会を開催し出席者52名を得てはなはだ盛会であつた。翌11月28日佐久間ダムの見学会を催したが雨天のためかなり予定より少なかったが95名の参加者を得, 午前11時40分中部天龍駅前に集合, 電源開発KK佐久間建設所で永田所長の説明を拝聴, 昼食後3台のバスに分乗して視察を行った。ダムはようやく掘きくを終りコンクリート打設の開始を待つばかりの状態であつた。規模の雄大さと近代土木技術の粋を集めた新工法とに一同感嘆しながら視察を終り午後3時30分中部天龍駅前で解散した。

2. 関西支部 第3回役員会(昭.29.12.15) 出席者: 近藤支部長, 高西, 福留, 鈴木元支部長, 松尾, 小林,

川口, 樋渡, 天野, 田中(代), 小松, 親谷, 和田, 三木, 松下の各商議員, 成岡幹事。議事: 1) 近藤支部長の40周年記念式典出席報告, 2) 本年度実施事業報告(見学会2回, 秋季学術講演会, 第2回土木工事研究会, 海岸工学研究発表会), 3) 本年度事業予定(1月—オリエンタルコンクリートKK木津川工場見学会, 3月—道路舗装講習会, 4月—通俗講演会, 適当な機会に福井市で講習会, 第3回土木工事研究会を2月に開催)。

3. 中国四国支部 第6回学術講演会(昭.29.11.25, 26) 高知県自治会館において開催, 参加者約170名を得て27名の会員によりそれぞれ次の発表が行われた。

(発表順)

貫入度試験の一考察	広島大学	林 公 重
三好橋補修工事と応力測定について	京都大学	成 岡 昌 夫
“ ”	徳島県	石 井 興 良
“ ”	同上	○鎌 村 英 郎
AEコンクリートに関する研究(第1報) —モルタルによるAE材並びにセメント分散材の性能比較について—	宇部興産KK	青 木 完 雄
土質実験用起振装置の試作	徳島大学	久 保 田 敬 一
“ ”	同	瀬 川 浩 司
ジャンボ一使用による隧道全断面掘進について	中国電力KK	原 文 大 郎
鳥取火災復興事業について	鳥取県	中 西 成 城
核磁気共鳴吸収の方法によるセメントの硬化現象について	広島大学	○河 内 清 彦
“ ”	同	村 上 幸 治
“ ”	同	平 原 栄 治
コンクリート養生温度経歴と圧縮強度	小野田セメントKK	高 野 俊 介
山口県両国橋の載荷試験結果について	山口県	伊 木 茂 夫
“ ”	京都大学	成 岡 昌 夫
重信川の流出土石流について	山口大学	○米 沢 博 明
“ ”	中四地建	本 多 博 明
永瀬堰堤掘削について	KK間組	○千 葉 弘 二
層状軟弱地盤の圧密沈下の近似計算法(第2報)	徳島大学	北 川 幸 二
土圧計による土圧測定について	第四港建	魏 原 光 久
食糧庁国営横浜サイロ建設について	別子建設KK	北 川 典 生
“ ”	“ ”	斎 藤 武 幸

鉄道橋桁の回転式更換法について	四国鉄道管理局	増 田 薫
プレバクトコンクリートをトンネルの漏水どめに用いた施工について	四国電力KK	清 水 修 吉
特殊粘土混入によるコンクリートの品質改善について	高知工業高校	田 所 芳 秋
円筒状曲り格子の近似解法	徳島大学	○村 山 康 夫
Vane Test について	徳島大学	青 木 康 夫
ロッドミルによる製砂の実績(中間報告)	徳島県	網 千 寿 夫
湯原ダムの仮設備について	中国電力KK	水 口 民 夫
凝結より硬化までに衝撃を受けたコンクリートの強度について	徳島大学	山 本 三 男
コンクリート打設における上層部及び下層部の透水性について	徳島大学	荒 木 謙 一
梯子桁の計算並びに性状について	日本セメントKK	○中 条 金 兵 衛
佐波川ダムサイトの地質とその対策について	徳島大学	星 治 雄
広島デルタのアルテシアン井揚水試験について	中四地建	土 肥 正 彦
樹枝状構造と国土計画(特別講演)	広島大学	小 田 英 一
永瀬ダムについて	高知県	岡 本 但 夫
欧米のアーチダムについて	中四地建	山 崎 博
橋梁の設計に関する二, 三の問題	九州電力KK	丸 田 信 雄
“ ”	東京大学	福 田 武 雄

また25日夜には映画会を催し“丸山ダム工事”“食糧庁横浜サイロ建設工事”“オランダ干拓工事”及び欧米のダムのスライド約150枚を映写した。

見学会(昭.29.11.27) 講演会に引続き建設省物部工事事務所において永瀬ダム工事を見学, あいにくの雨天にもかかわらず参加者約80名は監査廊の中まで入つて熱心に見学した。なお永瀬ダム工事の概要については学会誌2月号ニュース欄に登載の予定である。

4. 西部支部 商議員吉田朝次郎氏転任のため後任として国鉄下関工事事務所長金谷明氏を委嘱した。映画会(昭.29.12.10)九州電力KK並びに東映映画KKの後援により日本機械学会九州支部と共催で招待映画会を開催し会員各位に多大の感銘を与えた。題目は上椎葉ダム建設記録映画準備工事編及び佐久間ダム(第1編)であつた。

昭和29年12月分入退会報告(昭.29.12.1~12.31)

1. 入 会	90名(特2級1, 正18, 准12, 学生59)
2. 退 会	15名(正8, 准7)
3. 転 格	2名(准より正2)

会 員 現 在 数 (29.12.31 現在)

名誉員	賛助員	特別員	1級	2級	3級	正員	准員	学生員	合計	増加数
22	16	33	76	150	5340	6132	1608	13377	75	

昭和29年1月10日印刷 土木学会誌 第40巻 第1号 定価100円
 昭和29年1月15日発行
 編集兼発行者 東京都千代田区大手町2丁目4番地 中 川 一 美
 印刷者 東京都港区赤坂溜池5番地 大 沼 正 吉
 印刷所 東京都港区赤坂溜池5番地 株式会社 技 報 堂
 東京中央郵便局区内 千代田区大手町2丁目4番地 電話和田倉(20) 3945番
 4078番
 発行所 社団法人 土 木 学 会 振替東京16828番